

## 生誕100年を迎えた日本映画の巨匠 今井正監督の代表作を特集



婉という女



特別企画

# 今井正監督特集

生誕100年を迎えた日本映画界の巨匠今井正監督の代表作を特集

# 今井正監督特集



にこりえ

会期:8月1日(水)~8月26日(日) ※休館日・休映日除く  
観覧料:600円(大人)/500円(大学生・高校生)/400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。  
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。  
※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳の提示が必要です。)  
※「わの会」会員は300円(会員証の提示が必要です。)

1 (水) 14:00 | 9 (木) 14:00 | 12 (日) 14:00

## 青い山脈

女学校5年生の寺沢新子の元に偽物のラブレターが届く。クラス担任の教師島崎は、古い男女交際の意識を改めようとするが、逆に学校中を巻き込んだ騒動に発展してしまう。石坂洋次郎の原作を映画化した作品で、大ヒットした主題歌と共に時代を体現する名作として知られる作品。新子の明るくさわやかな男女交際のあり方が、戦後の新しい日本そのものを示している。



1949年/35ミリ/モノクロ/183分  
藤本プロ  
監督:今井正  
出演:池部良 原節子

※途中5分間の休憩有り。

2 (木) 11:00 | 11 (土) 11:00 | 24 (金) 11:00

## また逢う日まで

昭和20年。大学生の三郎は防空壕の中で美しい蛸子と出会う。町で再会した二人は交際を始める。蛸子は絵の勉強をしており、三郎は自分の肖像画を依頼する。しかし三郎に出征の日が近づいていた。ロマン・ロランの小説「ピエールとリュイス」を翻案した作品。反戦映画ながら、「ガラス越しのキスシーン」など青春映画として記憶に残る名作となった。



1950年/35ミリ/モノクロ/111分  
東宝  
監督:今井正  
出演:岡田英次 久我美子

2 (木) 14:00 | 12 (日) 11:00 | 23 (木) 14:00

## ひめゆりの塔

1945年3月。アメリカ軍の上陸を目前にした沖縄では、女子学生達も勤労奉仕として前線にかり出されていた。彼女らは「ひめゆり学徒隊」と呼ばれ、弾薬を運んだり、負傷兵の手当を行った。しかしアメリカ軍が上陸すると、彼女らは前線に置き去りにされてしまう。生存した女学生などの話を元に作られた作品だが、本作以前には「ひめゆり学徒隊」はほとんど知られていなかった。公開当時、日本映画のあらゆる興行記録を塗り替える大ヒットとなった作品。



1953年/35ミリ/モノクロ/127分  
東映  
監督:今井正  
出演:津島恵子 岡田英次

3 (金) 11:00 | 18 (土) 17:00 | 25 (土) 11:00

## 真昼の暗黒

1951年、三原村の老夫婦が強盗に殺害される。翌日小島という男が逮捕されるが、警察は現場の状況から多数の人間による犯行と断定、小島に自白を迫る。自白により4人の男が逮捕されるが、弁護を受け持った近藤弁護士は、小島の単独犯を主張する。実際に起きた強盗殺人事件の弁護士が、冤罪を訴えて出版した原作を元にした映画。見事なシナリオと緊迫感溢れる演出が素晴らしい作品で、この年の映画賞を総なめにした問題作。



1956年/35ミリ/モノクロ/124分  
現代プロ=独立映画  
監督:今井正  
出演:草薙幸二郎 松山照夫

3 (金) 14:00 | 24 (金) 14:00 | 26 (日) 14:00

## ここに泉あり

昭和20年、高崎市に地方都市で初めての交響楽団が結成される。マネージャーの井田は、バイオリニストの速水をコンサートマスターに招き、プロの楽団を目指す。しかし小学校などでの演奏の仕事しかなく、貧しい生活が続くのがあった。地方の交響楽団の草分け的存在である群馬交響楽団の草創期の実話を元に製作された映画。本作により楽団は注目されることになった。今井監督の誠実な演出が感動を呼ぶ。



1955年/35ミリ/モノクロ/150分  
中央映画  
監督:今井正  
出演:岸恵子 岡田英次

4 (土) 11:00 | 9 (木) 11:00 | 18 (土) 14:00

## どっこい生きてる

日雇いの仕事で暮らす毛利は、大家に、家の取り壊しを行うので出て行くように言われる。妻と子供二人を妻の実家に送り出した毛利は、旋盤工の会社に採用されるが、給料の前借りを頼んだことから不信をもたれ、翌日クビになってしまう。イタリアのネオリアリズムに影響された作品で、当時ニコヨンと呼ばれた日雇いの人々の生活をリアリズムで描き出した作品。



1951年/35ミリ/モノクロ/103分  
新星映画社=前進座  
監督:今井正  
出演:河原崎長十郎 中村翫右衛門



4 (土) 14:00 | 8 (水) 14:00 | 17 (金) 11:00

## にごりえ

樋口一葉の短編「十三夜」「大つごもり」「にごりえ」の3話をオムニバス形式で映画化した作品。第一話は「十三夜」。ある仲秋の名月の夜、高級官僚の原田家に嫁いだおせきが実家に帰ってくる。嫁ぎ先で冷遇に耐えかねたのだ。しかし父親は、まだ幼い太郎がいることなど、おせきを諭して帰らせる。帰るために車夫を呼ぶのだが、その車夫は意外な人物だった。第二話は「大つごもり」。ある商家に奉公しているみねだが、ある日親代わりだった叔父が病氣と知り、見舞いに訪れる。仕事のできない叔父は、みねに借金を頼む。みねは奉公先から借りることを約束するが、なかなか言い出せないのだった。第三話は「にごりえ」。本郷の小料理屋・菊之井で働くお力は、評判の酌婦だった。お力は以前布団屋の源七と恋仲だったが、源七はお力に所帯をすべてつぎ込み落ちぶれていた。ある日お力が引き込んだ結城という客は、お力の人生を聞きたがるのだった。

脚本の井手俊郎と水木洋子は原作をほぼ忠実に再現しており、一葉の日記体の描写を生かした作品となっている。「十三夜」は明治期、「大つごもり」は大正時代、「にごりえ」は昭和初期の設定で、映像の美しさなど文学映画の傑作となった。



1953年/35ミリ/モノクロ/130分/文学座=新世紀映画  
監督:今井正 出演:久我美子 淡島千景

4 (土) 17:00 | 10 (金) 11:00 | 18 (土) 11:00

## 山びこ学校

山形県山元村のやまびこ学校に赴任した若き無着先生は、貧しい生徒の生活を少しでも向上させようと生活に密着した教育を行う。無着先生は子供達の生活のありのままを書いた文集を出そうとするが、親たちに反対されるのだった。当時大ベストセラーとなった同名の原作の映画化。村の生活がドキュメンタリーのようなリアリズムで描かれている。



1952年/16ミリ/モノクロ/105分  
八木プロ=日本教職員組合  
監督:今井正  
出演:木村功 杉葉子

※作品が古いため音声・映像の状態が良くありません。ご了承下さい。

5 (日) 11:00 | 10 (金) 14:00 | 17 (金) 14:00

## 米

霞ヶ浦に面した農村。田村次郎は祭りの日、となり村の千代と出会う。次郎の兄貴分である仙吉の妹・定子は次郎が好きだったが、次郎は千代が忘れられない。今井監督初のカラー作品で、農村に住む人々を描いた群像劇である。美しい田園風景の中、因習に縛られた人々の生活がリアリズムで描かれ、数多くの映画賞を獲得した今井監督の代表作の1本。



1957年/35ミリ/カラー/118分  
東映  
監督:今井正  
出演:江原真二郎 中村雅子

5 (日) 14:00 | 11 (土) 14:00 | 22 (水) 14:00

## 夜の鼓

1年以上におよぶ江戸暮らしから国元に戻った小倉彦九郎は、妻のお種に不義密通の噂があることを知る。本人や家族を問いつめてもなかなか真実が分からない。ついに彦九郎はみんなを集めて会議を開く。近松門左衛門の「堀川波の鼓」を映画化した作品で、今井監督初の時代劇。有馬稲子の演技が見事な作品で、監督の演出もサスペンスに溢れている。



1958年/35ミリ/モノクロ/95分  
現代プロ  
監督:今井正  
出演:三国連太郎 有馬稲子

15 (水) 14:00 | 23 (木) 11:00 | 26 (日) 11:00

## 婉という女

土佐藩の家老・野中兼山は政敵が多く、兼山失脚後一家は山中の家に軟禁状態にされてしまう。その時野中家の二女・婉はまだ4歳だった。外界との接触を断たれ、家族は次々に亡くなっていくが、利発な婉は学問を学び、薬草に通じるようになる。40年後、野中家の男がすべて死んだとき、残った女達は解放されるのだった。60年度毎日出版文化賞、野間文芸賞を受賞した大原富枝の大作を映画化した作品。



1971年/35ミリ/カラー/123分  
ほるぶ映画  
監督:今井正  
出演:岩下志麻 緒形拳

16 (木) 11:00 | 19 (日) 11:00 | 25 (土) 14:00

## 橋のない川 第一部

明治末期、奈良盆地にある小森部落の人々は、被差別部落として差別されていた。父を日露戦争で亡くした畑中誠太郎と孝二の兄弟は、祖母ぬいと母ふでの四人家族で、貧しいながらもしっかり者の祖母のおかげでのびのびと育っていた。小学校を卒業した誠太郎は大阪に奉公に出る決心をする。孝二が6年生の時、部落で火事が起きる。しかし消防団は小森にはこないのだった。被差別部落の実態を告発した住井すゑの同名小説の映画化作品。



1969年/35ミリ/モノクロ/127分  
ほるぶ映画  
監督:今井正  
出演:北林谷栄 長山藍子

16 (木) 14:00 | 19 (日) 14:00 | 25 (土) 17:00

## 橋のない川 第二部

高等科を卒業した孝二は大阪に出るが、部落民であることを隠さないためなかなか仕事がない。やむなく孝二は部落に帰り靴職人になる。そんな時小学校時代に思いを寄せたまちえに再会する。一方大阪で米問屋に奉公する誠太郎は、問屋の娘あさ子と恋仲になる。しかし誠太郎が部落民であるため強引に引き離されてしまう。米騒動の発生から水平社運動の始まりまで、過酷な差別の中を生き抜いていく人々が描かれる。



1970年/35ミリ/モノクロ/140分  
ほるぶ映画  
監督:今井正  
出演:北林谷栄 伊藤雄之助

	1・水	14:00 青い山脈		
	2・木	11:00 また逢う日まで	14:00 ひめゆりの塔	
	3・金	11:00 真昼の暗黒	14:00 ここに泉あり	
	4・土	11:00 どっこい生きてる	14:00 にごりえ	17:00 山びこ学校
	5・日	11:00 米	14:00 夜の鼓	
	6・月		休館日	
	7・火		休映日	
今	8・水	14:00 にごりえ		
	9・木	11:00 どっこい生きてる	14:00 青い山脈	
井	10・金	11:00 山びこ学校	14:00 米	
	11・土	11:00 また逢う日まで	14:00 夜の鼓	
正	12・日	11:00 ひめゆりの塔	14:00 青い山脈	
	13・月		休館日	
	14・火		休映日	
督	15・水	14:00 婉という女		
	16・木	11:00 橋のない川 第一部	14:00 橋のない川 第二部	
特	17・金	11:00 にごりえ	14:00 米	
	18・土	11:00 山びこ学校	14:00 どっこい生きてる	17:00 真昼の暗黒
集	19・日	11:00 橋のない川 第一部	14:00 橋のない川 第二部	
	20・月		休館日	
	21・火		休映日	
	22・水	14:00 夜の鼓		
	23・木	11:00 婉という女	14:00 ひめゆりの塔	
	24・金	11:00 また逢う日まで	14:00 ここに泉あり	
	25・土	11:00 真昼の暗黒	14:00 橋のない川 第一部	17:00 橋のない川 第二部
	26・日	11:00 婉という女	14:00 ここに泉あり	
	27・月		休館日	
	28・火		休映日	
	29・水		休映日	
	30・木		休映日	
	31・金		休館日	



### 今井正監督プロフィール

1912年、東京都生まれ。高校時代からマルクス主義と映画に傾倒、東京帝国大学を中退し、35年京都のJ・Oスタジオに入社する。37年J・Oスタジオは合併により、東宝となる。39年「沼津兵学校」で監督デビューするが、助監督わずか2年という異例の出世だった。

「望楼の決死隊」(43年)など戦意昂揚的な作品を監督するが、戦後一転して「青い山脈」(49年)「また逢う日まで」(50年)など高い娯楽性と社会性を持った秀作を連発するようになる。東宝争議に際して組合側に与した今井監督は以後独立プロ運動に加わり、「どっこい生きてる」(51年)「にごりえ」(53年)などの作品を監督する。係争中の裁判を題材とした「真昼の暗黒」(56年)、人種偏見を扱った「キクとイサム」(59年)、部落差別を扱った「橋のない川」(69年)などタブーと思えるような題材に果敢に挑みながら、「武士道残酷物語」(63年)でベルリン映画祭金熊賞を受賞するなど、その作品は内外で高い評価を受ける。91年、「戦争と青春」完成後に死去。

イタリアのネオリアリズムに影響を受け、社会的テーマをリアリズムで描いた傑作が多いが、現代劇から時代劇まで幅広い作風、高い娯楽性と興行性を持った作品など、日本映画史を代表する監督の一人であった。

### information

## 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号  
 福岡市総合図書館(代表): tel.092-852-0600  
 映像資料課: tel.092-852-0608 fax.092-852-0609



福岡市総合図書館映像ホール・シネラ ホームページ

**うえぶシネラ** <http://www.cinela.com>

### Access

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

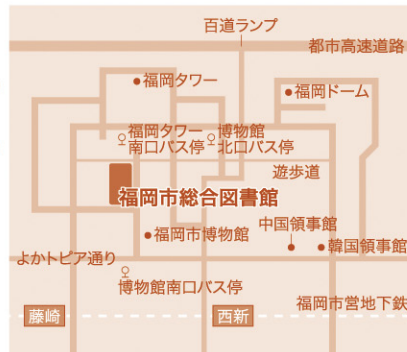
#### 市営地下鉄

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

#### 西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分  
 ◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からご利用については西鉄お客様センター[tel.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。



## 第320回プロムナードコンサート

◆◆◆月に一度のお昼休みのクラシックコンサート◆◆◆

日 時: 2012年8月28日(火) 12:00~13:00 ※入場無料  
 場 所: 西日本シティ銀行本店1Fエントランスホール(福岡市博多区博多駅前3-1-1)  
 曲 目: モーツァルト作曲 弦楽四重奏曲第15番c短調 K.421「ハイドンセット第2番」他  
 演奏者: 福岡ハイドン弦楽四重奏団  
 主 催: 公益財団法人福岡文化財団 TEL.092-473-6777

